

あなやま

社会福祉法人 信和会

〒407-0263

山梨県韭崎市穴山町 5164

TEL 0551-25-6100

FAX 0551-25-6103

<http://www.sip-shinwakai.jp>

編集責任者 栗原 信

迎春

社会福祉法人信和会 穴山の里

穴山の里(昭和67年4月竣工)



2016年 新年を迎えて



社会福祉法人 信和会

理事長 栗原 信

明けましておめでとうございます。

本年もよろしくお願ひいたします。

昨年は、地元においては、当法人会長が懇意にしております、北里大学特別名誉教授大村智博士のノーベル医学生理学賞の受賞、穴山町出身の甲斐清和高校の創設者であります伊藤うた先生の顕彰碑の建設と、喜ばしいことが多くあった年でありました。

この二人に共通のことは「人のためになることをしよう」を信条として日々精進してこられたことが二人の本を通じて理解することができます。

伊藤うた先生は人生の本務について、「抑々人生最高の目的は理想的の生活を営むのにある。その理想的な生活とは、自力の最善の力を尽くし各自の目的に向かって働くと言うことで、人は働く為に生きなければならぬ。生きんが為に働くのだと思つては価値のある働きはできないのである。そこで働くと言うことは仕事の何たるを問わず、社会の共同生活をたくするによって自己の存在を意義あらしめ其の生活の進歩発展をはかる事によって、自己の社会的生命を永遠ならしむるの意である。」と語っております。

社会福祉法人を取り巻く環境は、厳しくなっておりますが、社会福祉事業は、まさに人のために行う事業であります。当法人と関係を持つ方すべての皆さまが、理想的な生活の目的に向かって、進んでいけるように経営をしていかなければならないと感じた年でもありました。幸いに昨年、無事故で1年を送ることができたばかりか、年度計画も予定通りに進んでおり、おおむね計画はクリアできる見通しがたっております。これもひとえに職員の皆さまの努力によります。本当に感謝しております。

今年、社会福祉法人信和会は、30周年の記念の年となり、4月には、短期入所事業所の開設と新たに挑戦をしていく年となります。気分を切り替え、晴れやかな気持ちで新年のスタートを切っていきたいと

思います。

私たちは、よく「一年の計は元旦にあり」という言葉を使います。

職員の皆さまには、今年の目標、夢を持つこと、今年に達成したい夢を描き、一生かけて実現したい大きな夢を描いて、その実現に向けてスタートを切ってもらいたいと思います。そのスタートを切るための態勢をつくるのが大切です。スポーツ選手は、イメージ・トレーニングをして勝負に勝つイメージを強く描くことをしているそうです。

いい結果を夢に見ながら、頑張るのです。そして必死に立ち向かい、最後の最後まで戦いきるのです。自分が、いまいるセクションのナンバーワンになる夢、何か1つ誰にも負けないという技術を持つ夢、自分のもてる特技を身につける夢、資格を取る夢、人にやさしい言葉づかいをする、自分の身の回りをきれいにするなど、ちょっとしたことで、なんとか成し遂げたいことを目標としても良いのです。

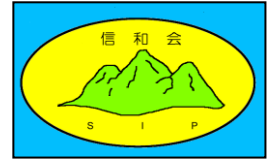
まず、夢を見る。夢をもってスタートを切ることが大事なことだと思います。

今年の干支である「申」という文字は、「一」と「日」に分けられ、これは人の身体の背骨と左右の肋骨を表す象形文字だそうです。「伸」の原字で、物事がグングン伸びていくことを示しているそうです。夢の実現に向けての心構えを固め、前に向かって進んでもらいたいと思っています。

社会福祉法人信和会30周年の記念の年、法人の夢、職員の夢、利用者の夢、地域の夢の実現に向けて精一杯頑張っていきたいと思います。今年もよろしくお願ひします

本部だより

社会福祉法人 信和会 法人本部
〒407-0263 荻崎市穴山町5390
Tel.0551-25-6100
E-mail: honbu@sip-shinwakai.jp



理事会・評議員会報告

開催日：平成27年12月4日（金）
開催場所：古名屋ホテル 会議室
審議事項：第1号議案 就業規則の変更について
第2号議案 その他



梅
(門松からのおすそわけ)

平成27年度第3回目の理事・評議員会が開催されました。
今回の会議において、審議事項は「就業規則の変更について」のみ、審議頂きました。
就業規則の変更は、マイナンバー制度が平成28年1月より運用開始されることに伴う規定変更及び特定個人情報取扱について制定・変更を提案いたしました。マイナンバー制度の概要説明と運用に関わる必要要件について説明させて頂きご承認を頂きました。マイナンバー制度はまだまだ不確定な部分が多く、皆様より多くの質問等もお受けし関心の高さが伺えました。これから円滑な運用ができますよう、法人として対応してまいります。その他として、老人短期入所施設の工事進捗等を報告いたしました。

マイナンバー 社会保障・税番号制度

マイナンバー制度は、行政を効率化し、国民の利便性を高め、公平・公正な社会を実現する社会基盤です。

法人本部も、税や社会保障の手続で、マイナンバーを取り扱います。現在は職員に対してのみの対応ですが総合支援法並びに介護保険法の改正にともない随時利用者の皆様への対応を進めて参ります。

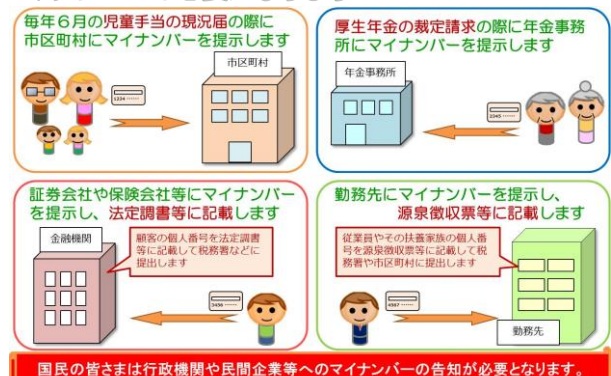
マイナンバーを取得するときは、利用目的の明示と厳格な本人確認が必要で、取得の際の本人確認では、番号確認と身元確認を行います。

職員扶養親族のマイナンバーを取得する場合、法人本部が扶養親族の本人確認を実施する場合があります。

マイナンバーの適切な安全管理措置に組織としての対応をしました。



平成28年1月から、社会保障、税、災害対策の行政手続でマイナンバーが必要になります



平成28年1月から、法人本部では以下の対応を実施いたしました。

社内規程の見直し（基本方針、取扱規程）

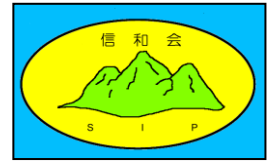
システム対応（改修等）

安全管理措置（組織体制、担当者の監督、区域管理、漏えい防止、アクセス制御など）

職員研修・勉強会の実施

穴山の里だより

障害者支援施設 穴山の里
〒407-0263 韮崎市穴山町 5164
TEL0551-25-5900
E-mail : sato@sip-shinwakai.jp



全国知的障害関係職員研究大会に参加して

私は、高知県で3日間開催された、全国知的障害関係職員研究大会に参加してきました。「老い」をテーマにした研究発表を聞いて、高齢化が進む世の中で、障害者にも高齢化が進んでいるという現状を学びました。障害+高齢化という2重の課題を抱える方を支援していくには何が大切で、何が重要なかが職員の大きな課題となってきます。また、1人1人の特徴に合わせて支援していくには施設の設備、周囲の環境、地域の方々との交流等、さまざまな課題がありますが、ここ穴山の里は、周囲の環境がよく、地域の方々との交流もあり、障害者を理解してくださる方が多くいます。しかし、職員の力にも限界があり、その時に、職員と一緒に障害者を支えてくださる地域の皆様の力が必要となります。今後も進んでいくと思われる高齢化の時代、職員と共に障害者支援のご理解とご協力をお願いする事が不可欠になると思いました。

生活支援員 成瀬翼



トイレ改修工事をしました



ふれあいハウスのトイレを改修しました。浄化槽の不具合から、場所を変えて新たに作り直しました。スペースも広がって快適に使えるようになりました。

穴山の里文化祭

11月20日、恒例の穴山の里文化祭が開催されました。発表部門では穴山の里ほのぼの合唱団や安来節、ご招待をした末広会様も日本舞踊を披露して頂きました。

帰省訓練を終えて帰園



暮れから正月にかけて7日間、保護者の皆さんとの絆を深めるための帰省が行われました。1月4日、利用者さんが正月を実家で迎えて元気よく帰ってきました。



末広会の皆様



ほのぼの合唱団

「農業班一泊旅行in恵那峡」



妻籠宿にて

農業奉仕班の利用者さんと恵那峡へ一泊二日の旅行へ行きました。天気にも恵まれ快晴の中、1日目は妻籠宿を歩いて回りしっかりと落ち着いた景色を楽しみ、日々の疲れが癒されました。その後、恵那峡ワンダーランドでは観覧車やメリーゴーランド、メダルゲームでしっかりと遊び、宿では窓から広がる恵那の景色を見ながら旅の疲れを癒し、宴会では飛騨牛のすき焼きや美味しいお刺身を堪能しました。2日目は恵那峡観光で、遊覧船に乗り、奇岩や大パノラマを船上からでしか味わえない迫力を感じ、充実したクルージングでした。二日間、皆が笑顔で楽しみ、日々の疲れを癒すことができ、とても充実した旅行になりました。



地域との絆



恒例のイルミネーション

11月29日穴山町ふれあいホールにおいてイルミネーション点灯式が葦崎市長をお迎えして盛大に行われました。大きなツリーやサンタクロース、ニーラ等が穴山の夕闇に浮かび上がりました。穴山の里からも参加させて頂きました。



公園のベンチを修理しました

穴山スポーツ公園備え付けの大型ベンチ4台の板が朽ちて使えない状態でしたので、穴山の里木工班の活動として修理致しました。公民館長さまより感謝のお言葉を頂き、日頃お世話になっている、地域の皆様のお役に立てて良かったと思えました。



修理したベンチ

さくら公園清掃

穴山町桜公園は開設以来、町内6地区の皆さんが毎月順番を決めて、清掃奉仕を続けています。その中に穴山の里奉仕班も仲間に入れてもらっています。12月は穴山の里の当番となりましたので、6地区の皆様にも負けないように利用者と職員で頑張りました。



穴山町さくら公園

穴山町さんま祭り

東日本大震災復興支援の気持ちで毎年開催されています。気仙沼から届いたサンマ1300匹は炭火焼のサンマ定食が好評で、焼手には地元の有志に混じって穴山の里職員の窪寺・小澤・福森の三人も参加して頑張りました。販売を含めて早々に完売しました。食事の余興に穴山の里太鼓の演奏が会場に華を添えました。



さんま祭り食事風景

交流文化祭in青少年センター



安来節熱演

10月23日 山梨県内の障害者施設が集まり、交流文化祭が行われ、屋台での販売や舞台発表を行いました。舞台での発表では利用者さんと職員が日頃より活動の合間を縫って練習を積み重ねた『安来節』を披露いたしました。当日の発表ではアンコールが湧きあがるほど盛り上がり他施設との交流も深まり、非常に良い経験となりました。

鷺宮社清掃

年末年始を故郷で過ごすため、普段ひっそりとしている穴山も帰省する人達等で一時的に賑やかになります。穴山での滞在中少しでも気持ちよく過ごして頂くために鷺宮社(氏神)と県道・市道の清掃をしました。12月は特に念入りに行いました。



鷺宮社の清掃

穴山の杜だより

特別養護老人ホーム穴山の杜
〒407-0263 韮崎市穴山町 5390
TEL0551-25-6100
E-mail : mori@sip-shinwakai.jp



あけましておめでとうございます



賑やかに過ごした新年の行事も一段落し、又多忙な1年が始まりました。正月飾りも取れる1月7日には、七草粥を食するという伝統があります。7種類の若菜を炊き込んだ粥は、正月料理で疲れた胃腸を休めるとか、冬の間不足しがちなビタミン等を補給するためであるとかいうことから現代まで続いております。今年も職員一同、入居者様と共に明るく健康で過ごすことができるよう頑張りますので、どうぞよろしく願いいたします。

さて、昨年の4月に改正されました介護保険法は、利用者・施設にとって大きな変化がありました。利用者の入居料負担の増加、施設への入居基準の変更など、いずれも高齢者福祉の根幹にかかわる改訂でした。国の目指す在宅介護の方針は、国の財政事情からの改訂であり、介護老人を抱えた人たちにとっては、出来るだけ在宅介護と言われても介護する家族が高齢であったり、職業を持っていたりしていますので簡単に解決できない大きな問題です。施設の入居は施設不足や定員の問題があり入居も簡単ではありません。施設にとっても多くの入居待機者を抱えておりますので、入居のお申し込みをされた方々にはどうしても長期間の在宅待機をお願いすることになってしまいます。

これらの問題解決の一つとして、各自治体が地域包括ケアシステムの構築を進めております。このシステムは、重度な要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供されるものです。穴山の杜特別養護老人ホーム、4月開設予定の穴山の杜短期入所生活介護事業所（ショートステイ）は、韮崎市地域包括ケアシステムの中で、韮崎市の福祉ゾーンの中心的な施設として位置付けられております。今後、さらに加速される高齢化社会に向けて行政・地域・施設・医療が相互連携の中で自主性・主体性をもって、高齢者を支えていく地域包括ケアシステムの一端を担うこととなります。このような社会的使命を認識し、又地域の方々の信頼、協力を得て皆様のお役に立つ施設を目指してまいります。

(施設長 栗原徳昌)

上部写真:門松は穴山町山田恭男様よりいただきました

防火避難訓練

11月19日16時より防火避難訓練を実施。訓練内容は2階亀フロア2丁目中央部分から出火したことを想定し、通報連絡、消火、利用者避難について峡北消防本部からの指導をいただき実施しました。実際に出火した前提で職員の動きについて訓練しましたが、慌ててしまい通報・連絡の段階でうまく連携が取れず大きな反省となりました。入居者の避難については、スムーズな動きで一応の成果が得られました。緊急時の職員の動き等については訓練を通して学んで欲しいと消防署の指導員からの講評をいただき終了しました。





環境整備

11月1日ご家族参加の環境整備が行われました。お忙しい中、多くのご家族が来設し、障子紙の貼り替えや普段手の届きにくい場所の清掃などにご協力いただきました。終了後はお茶会をし、利用者やご家族同士、職員と交流し貴重な時間となった事と思います。感謝申し上げます。



10月16日田富初花会 松山会の慰問がありました。綺麗な着物と優雅な舞を披露して下さいました。今回はマジックショーも行われ、傘の色が変わったり、花が飛び出したりと目の前で見るマジックに、利用者や職員から「おお〜!!」と歓声が上がり、目の前で見るマジックに大変な盛り上がりでした。



～ お楽しみ ～



10月21日と12月10日に穴山保育園の慰問。10月は未満児～年長までの園児15名が遠足をかねて来設され、運動会で練習してきたダンスや歌を披露して下さいました。最後に歌に合わせて利用者とのふれあいタイム。「元気だね!」「来てくれてありがとね!」と言っているかのような優しい笑顔が沢山!! 12月は獅子舞や舞踊、楽器演奏を披露して下さいました。園児の方よりプレゼントを手渡しでいただき、園児の方の笑顔と手作りの可愛いプレゼントに大喜びです!



12月9日蕪崎あいおい幼稚園の園児の方々が、遊びに来設されました。風もなく、穏やかな青空の下芝生広場で追いかっこや側転などをして楽しまれ、様子を眺めていた利用者へ合唱のプレゼントがありました!

スイーツ作り教室



12月3日亀1丁目にてクリスマスケーキ作り。ケーキ(スイーツ)作りを得意(プロ並みの味)とするご利用者の娘さんをお願いして、エントにてケーキ作り教室を開催。おしゃべりに花咲く中、利用者・職員それぞれの色とりどりのアイシングクッキーが出来上がりました。ふかふかのホッヅを焼いて来て下さり、そこへ生クリームと大きな苺で飾り付け、とても豪華なおやつが完成!! 一足早いクリスマス気分が味わえた楽しい一時を、ありがとうございました。

12月25日にぎり寿司が提供されました。目の前で寿司職人がにぎる寿司に目を輝かせ、沢山食べてお腹いっぱい。美味しいにぎり寿司に大満足!!

お楽しみ食



12月27日蒸かしたもち米の香りがエント内に広がり、ベランダにて杵と臼で餅を搗きました。100歳の方も気合が入っており、自ら立って見事な腕前を披露されました。お餅を食べやすい大きさに千切ったり、餡子・きなこ和えたりとそれぞれ手伝って下さり、昔を思い出されたでしょうか。



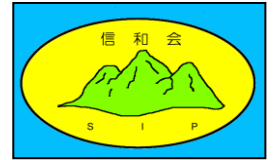
餅つき

みんなで作った出来立てのお餅を沢山食べ、「やっぱり搗きたては美味しいや」と満面の笑み!!



わ〜く 穴山の里だより

多機能型事業所 わ〜く穴山の里
〒407-0263 韮崎市穴山町 4433-1
Tel : 0551-25-5866
E-mail : work@sip-shinwakai.jp



明けましておめでとうございます



今年度は「生きる力を身に付ける」ことを意識した取り組みに力を入れております。作業を行う中での挨拶や身だしなみ、困った時に相談できる力が育つように心掛け、地域や社会で暮らしていくための力を身に付けられるようにしています。

授産事業の品質管理活動 →→



今年も利用者の皆さんと共に保護者の皆様との情報交換の場として、東京ドーム&スカイツリー日帰り旅行を開催しました。

多くの皆さんに参加頂き、タワーをしたから見上げると自然に口が開いてしまいました。



前月号で紹介されました、北里大学特別名誉教授大村智博士が館長を務められている大村美術館に見学に行ってきました。

多くの絵画に触れ、心やかなひとときを過ごしました。

共同生活 事業だより

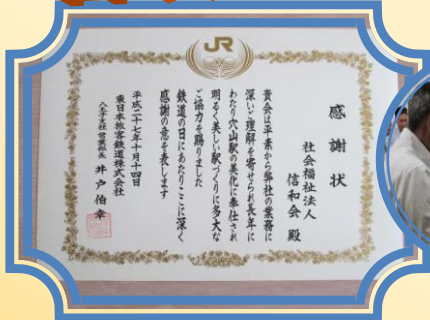
共同生活事業所 (わ〜く穴山の里内)
〒407-0263 韮崎市穴山町 4433-1
Tel : 0551-25-5866



日頃の活動で

永年続けていますJR穴山駅の清掃活動について、東日本旅客鉄道様より感謝状を頂きました。

清掃活動は、日頃の環境整備の一環として行っており、これからも気持ちよく駅を使って頂けるよう頑張ります。



韮崎市福祉の日記念祭りで太鼓の演奏に行ってきました。

最近では多くの皆様から演奏の機会を頂き、演奏にも力が入ります。日頃よりご指導頂いている先生をはじめ、聴いて頂いているすべての皆さんに感謝し、心に響く太鼓の演奏お届けいたします。



本年も引き続き利用者個人の能力を生かしながら地域社会との接点を持ち、豊かな日常生活を送ることができるよう、スタッフ一同支援を行って参りたいと思います。

おかげさまで、利用者の皆さんも地域社会の一員としての自覚を持ち、様々な活動をつけ、有意義な生活を送っています。



※全グループホーム合同の忘年会

～ 絵画を頂きました～

社会福祉法人信和会では多くの絵画の寄贈を頂いております。
 今回、東京都世田谷区在住の藤岡様より30点を越える絵画を寄贈して
 頂きました。
 今後は現在建築中の短期生活支援事業所などへ展示していきます。
 ありがとうございました。
 今回寄贈頂きました一部をご紹介します。



リコリスの音色



冬牡丹



熱帯睡蓮



葡萄



牡丹



陽春

表彰されました!

永年にわたり信和会の職員として勤務して頂き、多年に
 わたり社会福祉事業の推進に尽力されたとして表彰されま
 した。

相談支援事業所 **伊藤美鈴**

山梨県社会福祉協議会 知事表彰
 (第63回山梨県社会福祉大会にて)



伊藤うた顕彰碑 建立



理事長の年頭挨拶にもありました通り、平成27年11月
 28日穴山町さくら公園に現在の伊藤学園(甲府市・甲斐
 清和高校 他)の創設者である伊藤うた先生の顕彰碑が建
 立されました。

お近くにお越しの際は是非お立ち寄り下さい。



感謝録

(平成27年9月16日から平成27年12月15日)

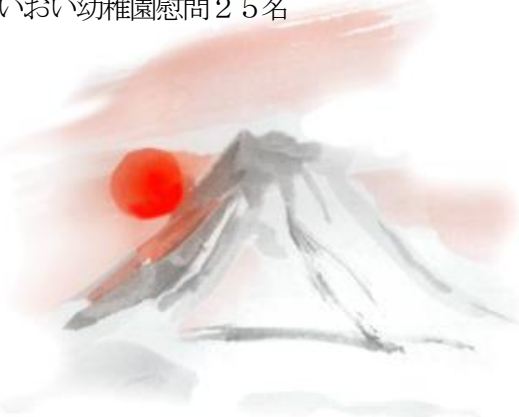
～ご寄付を頂きました～ (敬称略)
ありがとうございました。感謝いたします。

藤岡純子・富田武男・藤田 元・中澤一紀・
津金富久・山梨中央銀行須玉支店

～ご協力を頂きました～ (敬称略)

☆ボランティア

千野公洋 (太鼓)・阿部光雄 (歌謡)・島津泰子・
長坂泰子・小林秀子・細窪房美 (歌謡協力)・
田中康子 (絵画指導)・足立悦子 (ピアノ演奏)・
穴山町末広会・石澤一恵・甲府愛宕山キリスト
協会渡辺様他18名・
ロバとうさぎの会 (角井・杉山・小沢・小宮山・
足立・阿部)
初花会 (保坂喜久代・藤巻幸枝・鷹野英子・
中沢勝子・山口慶子・鮎川英哲)
松山の会 (大矢明子)・穴山保育園慰問19名
あいおい幼稚園慰問25名



・歌碑を巡る旅・

平成25年に穴山町内の公民館に建立しました、
『榎藤はなよ』さんの歌碑を紹介致します。
今回は、穴山町伊藤窪公民館です。

『願 かけ た』



訪問録

(平成27年9月16日から平成27年12月15日)

☆教育実習 (敬称略)

◎優和福祉専門学校

橋本祐希・細田桂子・横森将輝・小林玲児
飯窪優貴・堀口 彩

◎山梨学院短期大学

雨宮ゆき・小林可南子

◎帝京学園短期大学

舟窪優香

◎聖徳大学

政木怜美・橋本蒔月・野口朋美・富永優美
相山璃里・飯室怜央・清水亮太

☆施設見学 (敬称略)

山梨大学大学院教育学研究科
吉井准教授以下24名
双葉ボランティアの会安部様他16名

求 人 情 報

正職員・パート職員募集

事業拡大並びに新規事業所開設に伴い職員を
募集いたします。

- ★穴山の里(生活支援員) 免許・資格 不問
- ★穴山の杜(介護職員) 経験者及び有資格者
- ★穴山の杜短期入所施設 介護職

問合せ先 0551-25-6100 求人担当 深沢

編集後記

明けましておめでとうございます。
信和会は今年で三十周年を迎え、また
老人短期入所施設も4月より開所予定
で大事な一年になります。その他の施
設も新たな展開を模索しており、節目
の年となります。皆様のご協力を得て
実りある年になるよう邁進してまいり
ます。今年も宜しくお願ひ致します。

(T・F)